

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年6月9日 (2016.6.9)

【公表番号】特表2015-514778(P2015-514778A)

【公表日】平成27年5月21日 (2015.5.21)

【年通号数】公開・登録公報2015-034

【出願番号】特願2015-507173(P2015-507173)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/711 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/113 (2010.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 3/10

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 31/711

A 6 1 P 43/00 1 0 7

C 1 2 N 15/00 Z N A G

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月13日 (2016.4.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

糖尿病を処置および / または予防するための組成物であって、前記組成物は、S M A D 7 の発現または機能の特異的インヒビターの有効量を含み、前記組成物は、糖尿病の前記処置および / または予防を必要とする患者に投与されることを特徴とする、組成物。

【請求項 2】

移植後の膵島細胞の生存を促進するための組成物であって、前記組成物は、S M A D 7 の発現または機能の特異的インヒビターの有効量を含み、前記組成物は、移植後の膵島細胞の生存の前記促進を必要とする患者に投与されることを特徴とする、組成物。

【請求項 3】

前記 S M A D 7 の発現または機能の特異的インヒビターが、S M A D 7 に対するアンチセンスオリゴヌクレオチドである、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記 S M A D 7 に対するアンチセンスオリゴヌクレオチドが、配列番号 3、配列番号 4、配列番号 5、配列番号 6、配列番号 7、配列番号 8、配列番号 9、配列番号 10、配列番号 11 および配列番号 12 からなる群より選択されるオリゴヌクレオチドを含む、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記 S M A D 7 に対するアンチセンスオリゴヌクレオチドが、配列番号 5 または配列番号 9 を含む、請求項 3 または 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記 S M A D 7 に対するアンチセンスオリゴヌクレオチドが、配列番号 6 または配列番号 10 を含む、請求項 3 または 4 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記 S M A D 7 に対するアンチセンスオリゴヌクレオチドが非経口投与されることを特徴とする、請求項 3 ~ 6 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 8】

前記 S M A D 7 に対するアンチセンスオリゴヌクレオチドが皮下投与されることを特徴とする、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記組成物が、S M A D 7 に対するアンチセンスオリゴヌクレオチドと薬学的に受容可能な担体とを含む医薬組成物である、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記 S M A D 7 に対するアンチセンスオリゴヌクレオチドが、配列番号 3、配列番号 4、配列番号 5、配列番号 6、配列番号 7、配列番号 8、配列番号 9、配列番号 10、配列番号 11 および配列番号 12 からなる群より選択される、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記 S M A D 7 に対するアンチセンスオリゴヌクレオチドが、配列番号 5 または配列番号 9 を含む、請求項 9 または 10 に記載の組成物。

【請求項 12】

前記 S M A D 7 に対するアンチセンスオリゴヌクレオチドが、配列番号 6 または配列番号 10 を含む、請求項 9 または 10 に記載の組成物。

【請求項 13】

前記医薬組成物が皮下投与されることを特徴とする、請求項 9 ~ 12 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 14】

糖尿病が、1 型糖尿病、2 型糖尿病および妊娠糖尿病からなる群より選択される、請求項 1 および請求項 3 ~ 13 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 15】

配列番号 9 を含む前記 S M A D 7 に対するアンチセンスオリゴヌクレオチドの全ての O、O - ホスホネート結合が、ホスホロチオエート結合である、請求項 4、5、10 または 11 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 16】

配列番号 10 を含む前記 S M A D 7 に対するアンチセンスオリゴヌクレオチドの全ての O、O - ホスホネート結合が、ホスホロチオエート結合である、請求項 4、6、10 または 12 のいずれか一項に記載の組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の上述の態様および実施形態は、以下の図面、詳細な説明および特許請求の範囲を参照することによって、より完全に理解され得る。本明細書で使用する場合、「含む」は、限定がないことを意味し、引用される例は非限定的である。

特定の実施形態では、例えば以下が提供される：

(項目 1)

糖尿病を処置および / または予防する方法であって、S M A D 7 の発現または機能の特異的インヒビターの有効量を、糖尿病の処置および / または予防を必要とする患者に投与することを含む方法。

(項目 2)

移植後の器官および / または細胞の生存を促進する方法であって、S M A D 7 の発現または機能の特異的インヒビターの有効量を、移植後の器官および / または細胞の生存の促進を必要とする患者に投与することを含む方法。

(項目 3)

前記細胞が膵島細胞である、項目 2 に記載の方法。

(項目 4)

前記 S M A D 7 の発現または機能の特異的インヒビターが、S M A D 7 に対するアンチセンスオリゴヌクレオチドである、項目 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の方法。

(項目 5)

前記 S M A D 7 に対するアンチセンスオリゴヌクレオチドが、配列番号 3、配列番号 4、配列番号 5、配列番号 6、配列番号 7、配列番号 8、配列番号 9、配列番号 10、配列番号 11 および配列番号 12 からなる群より選択されるオリゴヌクレオチドを含む、項目 4 に記載の方法。

(項目 6)

前記 S M A D 7 に対するアンチセンスオリゴヌクレオチドが、配列番号 5 または配列番号 9 を含む、項目 4 または 5 に記載の方法。

(項目 7)

前記 S M A D 7 に対するアンチセンスオリゴヌクレオチドが、配列番号 6 または配列番号 10 を含む、項目 4 または 5 に記載の方法。

(項目 8)

前記 S M A D 7 に対するアンチセンスオリゴヌクレオチドが非経口投与される、項目 4 ~ 7 のいずれか一項に記載の方法。

(項目 9)

前記 S M A D 7 に対するアンチセンスオリゴヌクレオチドが皮下投与される、項目 8 に記載の方法。

(項目 10)

S M A D 7 に対するアンチセンスオリゴヌクレオチドと薬学的に受容可能な担体とを含む医薬組成物を投与することを含む、項目 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の方法。

(項目 11)

前記 S M A D 7 に対するアンチセンスオリゴヌクレオチドが、配列番号 3、配列番号 4、配列番号 5、配列番号 6、配列番号 7、配列番号 8、配列番号 9、配列番号 10、配列番号 11 および配列番号 12 からなる群より選択される、項目 10 に記載の方法。

(項目 12)

前記 S M A D 7 に対するアンチセンスオリゴヌクレオチドが、配列番号 5 または配列番号 9 を含む、項目 10 または 11 に記載の方法。

(項目 13)

前記 S M A D 7 に対するアンチセンスオリゴヌクレオチドが、配列番号 6 または配列番号 10 を含む、項目 10 または 11 に記載の方法。

(項目 14)

前記医薬組成物が皮下投与される、項目 10 ~ 13 のいずれか一項に記載の方法。

(項目 15)

糖尿病が、1 型糖尿病、2 型糖尿病および妊娠糖尿病からなる群より選択される、項目 1 および項目 4 ~ 14 のいずれか一項に記載の方法。